

# 韓国当てにせず、日本は自国で守り固めよ

シリーズ

## 日本が危ない!

### 韓国政治混乱、日米韓に影響 THAAD 導入と GSOMIA 締結

韓国がまともな民主主義国家ではないことが、大統領、朴槿恵の友人の国政介入事件で浮き彫りになっている。朴が来年4月の辞任を表明しても混乱は当面収まりそうにない。北朝鮮の弾道ミサイル・核開発が進むなか、韓国が不安定であることは日米韓の連携にも影響が出る。もっとも、有力後継候補をみると朴以上に親北ぶりが目立ち期待は持てない。

最初から「反日カード」を切るなど大統領としてめばしい実績を残していない朴だが、北朝鮮に対しては強硬だった。北朝鮮制裁として南北協力の象徴である「開城工業団地」を閉鎖し、米国の最新鋭地上配備型の迎撃システム「高高度防衛ミサイル(THAAD)」導入を決定した。さらに、日本との間では防衛機密の共有を可能にする軍事情報包括保護協定(GSOMIA)を締結した。

GSOMIAは2012年6月、当時の李明博政権の末期に署名寸前だったところを「密室交渉」との批判がおこり、署名のわずか1時間前になって締結が延期された経緯がある。朴は北朝鮮の核・弾道ミサイル開発に対処するため、これらの情報を共有する覚書を日米とともに締結した。これまで日韓は米国を通じて情報共有してきたが、協定の締結によって直接のやりとりが可能となり、情報共有の迅速化につながる。なか

でも対潜水艦情報に弱い韓国にとって、日本の優れた対潜情報を手に入れるという大きなメリットがある。

### 朴政権よりマシな政権できるか 「歴代最悪」の潘国連事務総長

これに対し、韓国の野党は慰安婦に10億円を支払う日韓合意も含めて合意に反対してきた。このままいくと野党政権の誕生となり、朴の「遺産」をすべて破棄する可能性もある。東京基督教大学教授の西岡力は12月1日付産経新聞「正論」で「与党議員がスキャンダルは批判するが政策は維持発展させるという朴政権の評価に立ち返り、自由民主主義体制を守る健全な次期大統領候補を擁立できるかが焦点だ」と指摘した。

だが、現実には西岡の期待からは遠いようだ。有力とされる4候補をみてみよう。

国連事務総長の潘基文は12月末で任期切れとなる。潘は「来年1月からは韓国の未来について考え、祖国のために尽くす最善の方法を考える」

と大統領選出馬に意欲をにじませた。国際的に知名度も高い潘は北朝鮮の第一書記、金正恩と会談しようとしてきた。外交筋によると潘は5回にわたって訪朝を計画した。国連事務総長としてさしたる成果もあげられないなか、訪朝することで緊張が高まった朝鮮半島の平和に向けて成果を上げようとしたとみられる。結局北朝鮮側から直前になって取り消されるなど、ここでも実績を上げることができなかった。

潘は人権問題などで存在感が希薄との批判を浴びてきた。潘はAP通信のインタビューに「私がいつも静かで人権問題を取り上げないというが、私はいかなる西側諸国の指導者よりも多くの言葉を発してきた。私ほど忌憚なく話してきた人はいないでしょう」と反論した。

そう思っているのは本人だけのようで、英誌エコノミストは「歴代最悪の事務総長」と酷評している。同誌は潘の10年間にわたる事務総長としての仕事ぶりについて「懸案への対応は不十分」として「失敗だった」と総括した。米紙ニューヨーク・タイムズもシリア情勢に関して「潘基文はどこにいる」との記事で「シリア国内の虐殺を止めることに関してまったく無力だった」と酷評した。

潘をめぐっては有力ポストに韓国人を次々と起用するなどその「縁故主義」にも批判が上がり、国連職員組合が「親類縁者や友人を優先する人事政策を批判する」とした文書を出す事態にまでなった。朴と同じような事態である。

潘は2015年9月には中国・北京で開かれた抗日戦争勝利70周年記念式典に出席し、ロシア大統領ウラジミール・プーチン、朴らと前列に立ってパレードなどを見守るなど中国寄りの姿勢も鮮明にした。この式典には日本はもちろんのこと、欧米の首脳は参加しなかったため、

中立であるべき国連のトップとしてとてもふさわしい行動とはいえなかった。

最大野党「共に民主党」前代表の文在寅はどうか。文は前回大統領選で朴に僅差で敗北した。盧武鉉大統領時代には大統領秘書室長を務めた。文は2009年に盧が自殺したとき、葬儀委員会常任執行委員長として取り仕切るなど盧の側近として知られた。盧政権時代、韓国は北朝鮮に対する過度の融和策で臨み、国内の左傾化も顕著となった。その中心的存在が文だった。

朴のスキャンダルが大きくなる前は文が疑惑の渦中にいた。大統領秘書室長を務めていた2007年、国連の北朝鮮人権決議案の採択前に当の北朝鮮に意見を求め、当然のことながら反発する意見が出たため、棄権を決めたことが当時の外交通商相の回顧録によって10月に暴露された。北朝鮮の「回し者」「内通者」として文は非難されたが、朴スキャンダルのおかげで追及を免れた。

### 野党候補はオール「反日一色」 韓国のトランプ李も日本敵視

今年7月には、韓国が不法占拠を続ける竹島(島根県隠岐の島町)に上陸した「反日派」でもある。芳名録には「東海のがわが領土」などと書き込んだ。文の反日行動はこれにとどまらず、2012年には慰安婦問題で日本攻撃の急先鋒である「韓国挺身隊問題対策協議会(挺対協)」の集会に参加したほか、昨年の慰安婦問題に関する日韓合意にも「国会承認を得ておらず無効だ」と主張するなど、「反日一色」の人物だ。

日韓合意に反対しているのは野党「国民の党」前共同代表の安哲秀も同様だ。日本側が求めている在ソウル日本大使館前の慰安婦像の撤去には「ありえないことだ」と反対している。大学教授、医師、実業家とさまざまな顔を持つ安だが、前回の大統領選では野党候補一本化のため出馬を辞退した。

それでは、最近「韓国のトランプ」と呼ばれ注目を集めているソウルに近い城南市の市長、李在明は3人とは違うだろうか。李は実家が貧しく、小学校を卒業後すぐに工場で働き始めた苦学人だが、25歳で弁護士となり、2010年に城南市長となった。市の負債を完済するなど行政手腕を揮って注目を集めた。同時にトランプばりの過激発言でも知られるようになったが、矛先は日本に向いている。

慰安婦問題については朴の父親である元大統領、朴正熙について「日本軍将校出身で、日本軍慰安婦の真似して米軍慰安婦制度をつくった」「慰安婦に対する朴槿恵政権の残忍な措置は米軍慰安婦と無関係と言えるか?」などとフェイスブックに書き込んだ。

GSOMIAについても「協定を締結するならば大統領ではなく日本のスパイだ」「売国の現場を目撃する気持ちは無残なものだ。依然として日本は敵性国家であり、日本が軍事大国化する場合、一番先に攻撃対象になるのは朝鮮半島であることは明白だ」などと、3人以上に反日姿勢を鮮明にしたメッセージを発している。

### 韓国混乱、挑発控える北朝鮮 朴スキャンダルは渡りに船

以上をみると、4人ともとても日韓関係の改善に取り組むとは思えない。むしろ親北色満載なのである。韓国国内の混乱を喜んでいる北朝鮮だが、事件発覚と相前後して、今年相次いで行った核実験・弾道ミサ

### 朴槿恵大統領と崔太敏牧師をめぐる相関図



※崔容疑者の写真は、韓国誌「時事IN」提供=共同

イル実験などの挑発行為を控えるようになった。

北朝鮮はGSOMIAに関しては「百年の宿敵(日本)に再侵略の道を開く、許されざる罪悪だ(朝鮮労働党機関紙、労働新聞)と、李同様に激しく批判した。さらにソウル市内などで展開される大規模デモについては「汎国民闘争が展開された」と好意的に伝えている。

北朝鮮は今年6月、韓国に潜んでいる工作員向けに指令を出す「乱数放送」を再開。韓国側は警戒を強めている。

そもそも朴の機密情報はなぜ明らかになったのか。きっかけはJTBCという韓国のテレビ局が朴の親友である崔順実のパソコンのファイルを手に入れたことがきっかけだった。JTBCの記者が崔の事務所を訪れたところ、事務所の外にあったパソコンを手に入れたとの説明があるが、真相は定かではない。日本の公安筋は「偶然にしてはできすぎている。北朝鮮の工作員が介在していたとしても不思議ではない」と語る。

もともと崔は北朝鮮とはパイプがあったとされる。朴が国会議員時代の2002年に訪朝し、当時の総書記、金正日と会談したときは、崔の宗教関係のコネクションを使ったとも言われている。

崔の父親の崔太敏は1970年代に新興宗教「永世教」を興した。74年に朴の母親・陸英修が狙撃され死亡したところから崔太敏は朴に接近。75年に「大韓救国宣教師団」を創設し自ら総裁、朴を名誉総裁に迎えている。79年に教団を「セマウム奉仕団」に改称し、勢いを伸ばした。

崔順実は北朝鮮と良好な関係を保っていたが、2013年に北朝鮮のナンバー2であった張成沢が粛清されたとき「北朝鮮はあと2年で崩壊する」と予言したという。朴政権も北朝鮮に対して強硬姿勢で臨むようになる。北朝鮮が崔を徹底マークしていたとしても不思議ではない。

労働新聞は今回の事件について「朴は『崔順実核爆弾』で吹き飛ばす事態になった」「親米保守勢力の全面的崩壊にほかならない」などと、「裏切り」に対し勝ち誇った様子で伝えている。

北朝鮮に関してはこのほど9月に行った5回目の核実験を受けた国連安全保障理事会の新制裁決議で、石炭輸出の規制を強化された。決議は中国向けの石炭輸出に頼る北朝鮮の外貨獲得手段を遮断し、北朝鮮の核・ミサイル開発に打撃を与えるのがねらい。北朝鮮にとっては国際的な包囲網が強まるなかで、韓国の混乱は渡りに船というわけだ。

米紙ウォールストリートジャーナルは「危険なことは北朝鮮がこの機会を使おうと考えるかもしれないことである」として、来年2月の米韓軍事演習を理由に北朝鮮が韓国に攻撃してくるかもしれない可能性を指摘した。

日本としては政情不安が続く韓国を当てにせず、自国の守りをしっかり固めるという姿勢で臨む必要があるようだ。(敬称略)

| 年    | 月  | 日  | 朴槿恵政権をめぐる主な経過  |
|------|----|----|--|
| 2013 | 2  | 25 | 朴槿恵氏が韓国初の女性大統領就任   |
| 14   | 4  | 16 | 旅客船セウォル号沈没事故で高校生ら295人が死亡<br>(韓国海洋警察提供・聯合=共同)                                 |
| 10   | 8  |    | セウォル号事故当日の動静「空白の7時間」に関するコラムで朴氏の名誉を傷つけたとして、産経新聞の加藤達也元支局長を在宅起訴(15年12月18日に無罪判決) |
| 15   | 9  | 3  | 朴氏が北京で抗日戦争勝利70周年記念行事に出席<br>(共同)  |
| 12   | 28 |    | 慰安婦問題について「最終的かつ不可逆的に解決される」との認識で日韓合意  |
| 16   | 2  | 10 | 北朝鮮の核実験・ミサイル発射を受け、南北経済協力事業の開城工業団地稼働を中断                                       |
| 4    | 13 |    | 総選挙で与党セヌリ党が惨敗。16年ぶりに国会で与党が少数派に   |
| 7    | 8  |    | 米軍の高高度防衛ミサイル(THAAD)の韓国配備決定発表   |
| 10   | 24 |    | 朴氏の演説草稿や閣議資料などを友人の崔順実被告が事前に入手していたと韓国テレビ局が報道。翌日に朴氏が一部事実を認め謝罪                  |
| 11   | 3  |    | 検察が崔被告を逮捕  |
| 20   |    |    | 検察が崔被告らを起訴。起訴状に朴氏の共謀を明記  |
| 26   |    |    | 朴氏の退陣を求める大規模集会に、全国で190万人(主催者発表、警察推計は32万人)が参加<br>(共同)                         |
| 29   |    |    | 朴氏が任期満了前の辞意を表明   |